

奨励賞



須田修司

設計者

須田修司 ■ 広島県建築士会(株)竹中工務店 設計部

共同設計者

高垣建次郎 ■ 東京建築士会、高垣建築総合計画 **寺谷啓史** ■ 広島県建築士会、(株)竹中工務店 設計部



高垣建次郎



寺谷啓史

教育施設

広島県広島市

広島学院創立60周年記念事業 講堂・聖堂

構造 階数

鉄筋コンクリート造、
一部鉄骨鉄筋コンクリート造
および鉄骨造
地上3階、地下1階

敷地面積

45,110.98㎡

建築面積

1,719.16㎡

延床面積

3,517.94㎡

竣工

平成27年8月18日



A



B



C

選評

建物は中高一貫の男子校のキャンパスに建つ聖堂と講堂の建替えである。

建物全体は西広島の古江山の中腹に緑を背景にして建っている。山裾に沿って細長く水平に軸線を持つ既存校舎の東端に、要となる聖堂が建つ。

聖堂は八角形の平面で、祭壇が軸線より45度振られている。そのために建物の外殻がずれ、登校する学生は聖堂の外観をめざして上っていくことになる。

この聖堂は、4枚の壁の内側に八角形の外皮を入れ子状に配し、隙間から光を取り込み陰影が空間にアクセントをつづっている。そして内部空間は、八角形の外皮に対して、透かされた木格子を持つ楕円形の中が祈りの場となり、空間を包み込んでいる。こ

の透かされた木格子はコンクリート・レンガタイルとの対比で構成されているが、木の材質・寸法・格子の隙間のバランスの取り方が気になった。

講堂は、全校生徒が一同に会することができる扇形の平面で構成され、学校行事や講演会など多様な使い方ができる。2階席は階段教室として3分割できるように遮音パネルシャッターで仕切られ、講堂と教室に分割できるよう工夫されている。舞台の背後は瀬戸内海に浮かぶ島々と町並みが見渡せるように、大きな開口部が設けられている。

建築の持つ場所性と内側から見える風景の関係性が読み解ける秀逸な建築である。

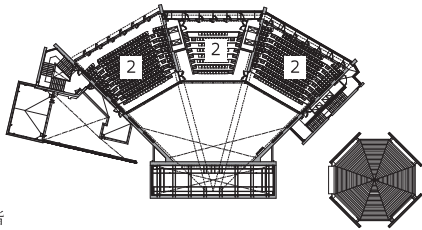
(竹原義二)



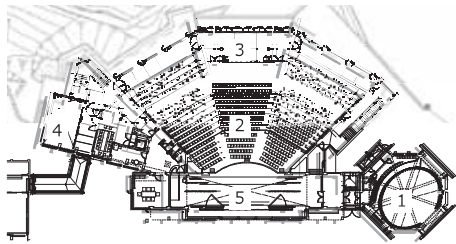
D



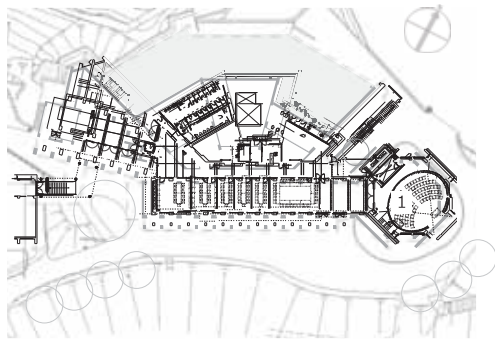
E



3階



2階



1階
平面図

1. アシジの聖フランシスコ聖堂
2. ペドロ・アルベ記念講堂
3. ホワイエ
4. メモリアル
5. ステージ

- A 鳥瞰
- B 東門アプローチ
- C 南面外観
- D 聖堂階段
- E 聖堂(祭壇)
- F 聖堂内部
- G 講堂よりステージを臨む



F



G